



あり、なかなか世の中に普及しないという現状です。

ただ、毎日の調理の中で少しだけ手を抜いて介護食品

にするというのもいいですし、もちろん元気な方がアレンジして食べるということもできるのです。だって、すごい時間をかけて食材を柔らかくしなくても、そもそも介護食品は柔らかいのですから。まさに時短料理です。

そこで今回、介護食品を多くの方に手にとっていただきたいという企画で、チラシにある申し込み先に連絡したら1セットサンプルを無料でお送りするという企画を考えました。

そのまま食べていただいてもいいし、アレンジメニューで利用していただいてもいいでしょう。逆に、僕たちが考えていないような使い方も考えていただくのも大歓迎です。ふるってお申込みください。

歯の神経

以前にも話をしたことがあるのですが、そうかあ、一般の方はそう考えているのかあとと思う事案があります。それは「歯の神経を抜いたのに歯が痛い」と言われることです。僕たちはもちろん何が起こっているのかわかってはいるのですが、そうだよなあと思います。

神経を抜いたら痛くない…のは事実ですが、正しい表現ではないので

す。正しく書くと、「歯の中にある神経を抜いたので、歯そのものは痛くない」です。さらに言うと、「歯の根の周囲にも神経はあるので、歯の周囲（歯ぐきなど）の痛みは出る」ということです。ざっくり言うと、「むし歯の痛みは出ないけど、歯ぐきの痛みが出る可能性はある」と言っているでしょう。

よくある症状としては、以前神経を抜いて金属の歯が入っているけれど、噛むと痛みが出るようになったというもの。以前神経を抜いて消毒をした根の先が再び悪化し、根の先に炎症が起きてしまうのです。また、急性の歯槽膿漏（のうろう）のようなものもあります。

せっかく治療した歯がまた痛み出すのは残念ですが、起こりえるということだけ覚えておいてくださいね。